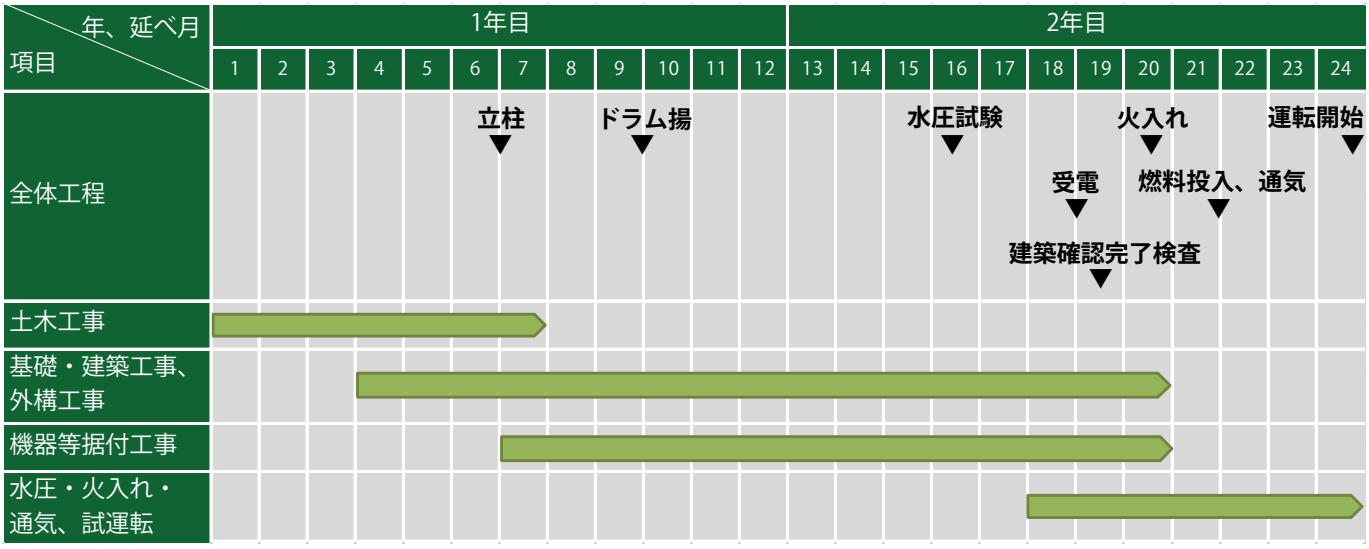
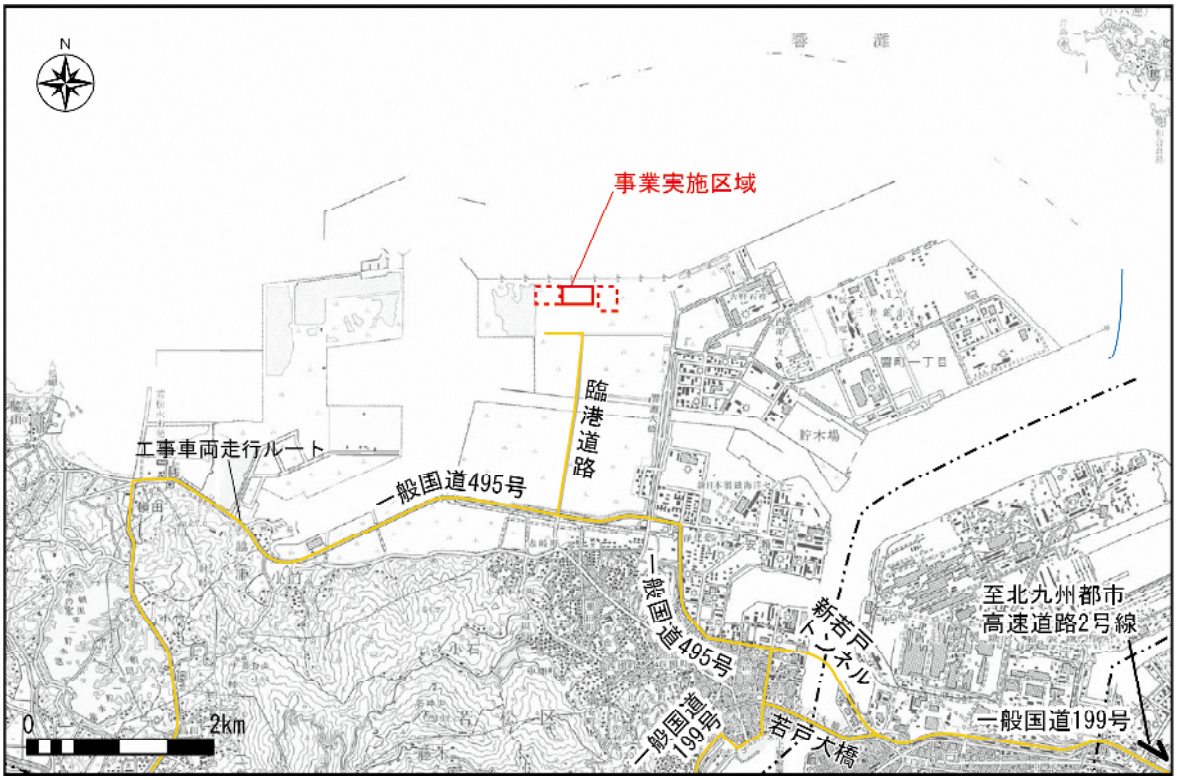
事業の概要（工事）

主要な工事は、伐採・整地を行う土木工事、基礎・建築工事、機器等の据付工事があります。工事期間は、約2年間で計画しています。

工事用の資材等を運搬する車両は、下図のルートを走行する予定で、1日あたり35台が走行する計画です。なお、本工事において土砂の搬出入は想定しておらず、基礎掘削で発生した土は、全て埋め戻し土と盛土に再利用します。

▼工事工程





▲工事関係車両の走行ルート

環境影響評価項目の選定

環境影響評価を行う項目は、本事業が火力発電所の設置事業であることから「発電所アセス省令」別表第2に掲げられた火力発電所の参考項目と「北九州市環境影響評価技術指針」別表第1を参考とし、本事業の特性と地域特性から影響が及ぶおそれのある環境要素を選定しました。

▼環境影響評価項目の選定結果

環境要素の区分 ＼ 影響要因の区分				工事の実施			土地または工作物の存在及び供用						
				工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設の存在	施設の稼働 排ガス	施設の稼働 排水	施設の稼働 温排水	施設の稼働 機械等の稼働	資材等の搬出入	廃棄物の発生
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫黄酸化物					○※1					
			窒素酸化物	－	－			○※1				○※2	
			浮遊粒子状物質					○※1					
			石炭粉じん				－				－		
			粉じん等	－	－							○	
		騒音	騒音	－	○						○	○※2	
		振動	振動	－	－						－	○※2	
	水環境	水質	水の汚れ						○※1				
			富栄養化						○※1				
			水の濁り		－	○							
			水温							○※1			
		底質	有害物質		－								
		その他	流向及び流速				－			－			
	その他の環境	土壌	土壌汚染			○							
		地形及び地質	重要な地形及び地質				－						
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	陸生動物	重要な種及び注目すべき生息地			○	○						
		海生動物	海域に生息する動物				－			○※1			
	植物	陸生植物	重要な種及び重要な群落			○	－						
		海生植物	海域に生育する植物				－			○※1			
	生態系		地域を特徴づける生態系			○	○						
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				－						
	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	－			○					－	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		産業廃棄物			○							○
			残土			○							
	温室効果ガス等		二酸化炭素					○					

※1 近隣で行われる「バイオマス専焼発電施設整備事業」、「バイオマス混焼発電施設整備事業」との複合影響を対象とする。
※2 近隣で行われる「バイオマス専焼発電施設整備事業」との複合影響を対象とする。
備考）1. 黄色の網掛けは、発電所アセス省令に示す参考項目を示す。
2.「○」は環境影響評価を行う項目として選定することを、「－」は選定しないことを示す。